

2022年3月期 第3四半期決算補足資料

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2022年2月8日

注意事項

本資料は、株式会社レノバ(以下「弊社」といいます。)及び弊社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は四捨五入としているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせ先
株式会社レノバ IR室
電話 : 03-3516-6263
メール: ir@renovainc.com
IRサイト: <https://www.renovainc.com/ir>

I. 2022年3月期第3四半期決算(IFRS)

2022年3月期第3四半期連結決算(IFRS)及び直近のハイライト

1 2022年1月7日に、今期の通期業績予想を修正。
公募の選定結果に伴う、全ての損失を今期中に処理

2 2022年2月、キアンガン水力事業(17.4 MW)に、
Norfund(ノルウェー)が追加で参画

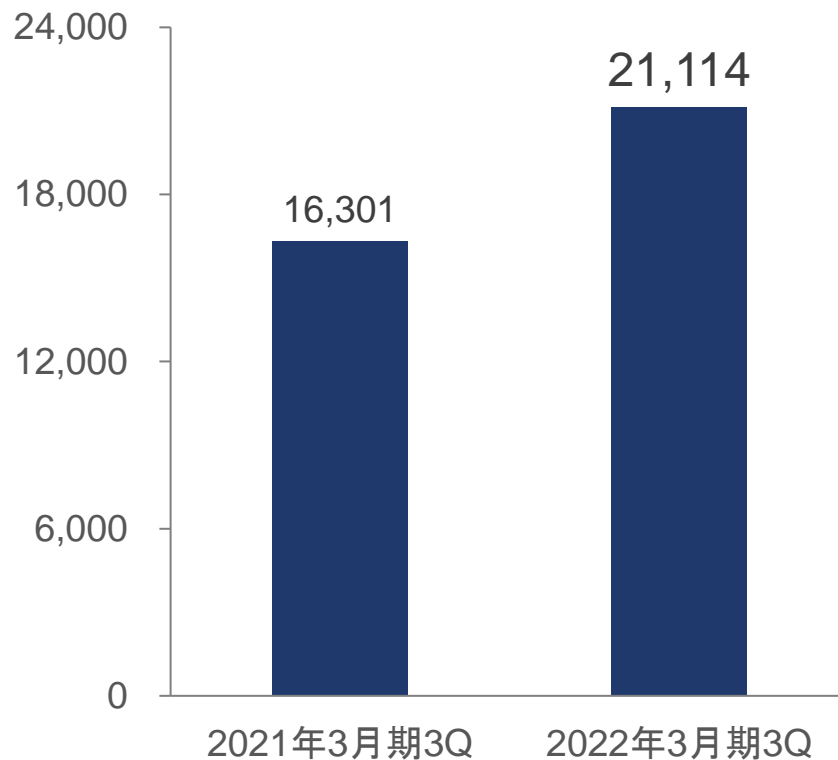
3 2021年12月、米領サモアにおける
蓄電池併設型陸上風力事業の調査を開始

連結売上収益及び連結EBITDA^{*1}の推移(IFRS)

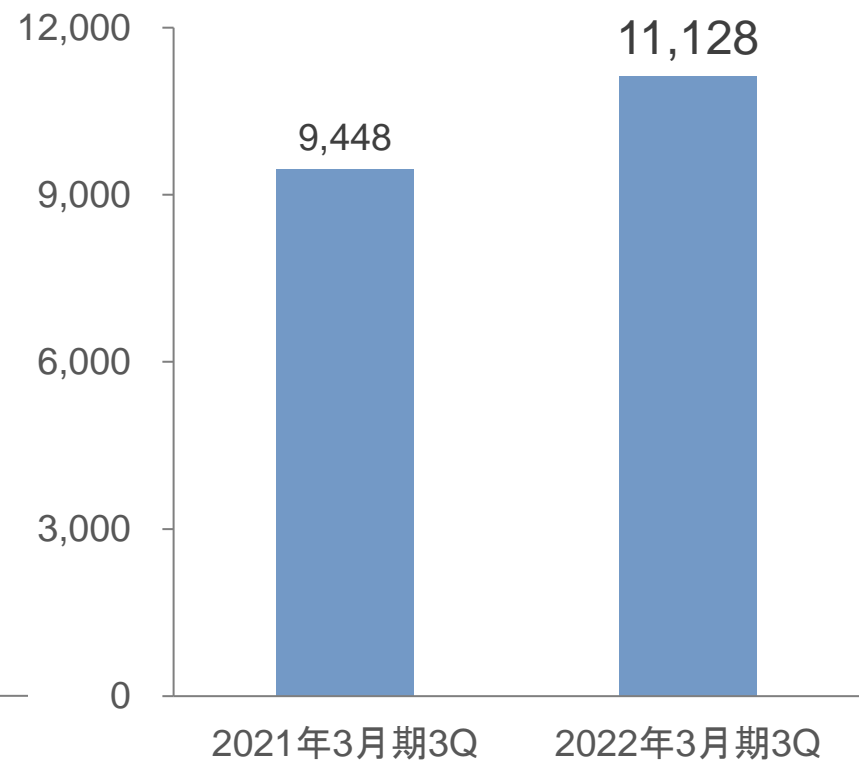
(単位: 百万円)

- 売上収益及びEBITDAは、計上を見込んでいた洋上風力事業の開発報酬等は剥落したが、苅田バイオマス及び軽米尊坊ソーラーの運転開始に伴い前年同期から増収増益

連結売上収益(実績)



連結EBITDA^{*1}(実績)



^{*1} EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益(由利本荘洋上風力除く)+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

連結業績ハイライト(IFRS)

(単位: 百万円)

- 親会社の所有者に帰属する四半期利益の減益要因は、洋上風力事業の公募選定結果に伴う関連会社出資持分の損失処理等によるもの

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2022年3月期 (修正予想)	通期進捗率
売上収益	16,301	21,114	28,600	73.8%
EBITDA*1	9,448	11,128	12,200	91.2%
EBITDA マージン	58.0%	52.7%	42.6%	-
営業利益	4,944	995	▲500	NA
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	3,895	2,124	▲1,100	NA
EPS(円)*2	50.82	27.24	▲13.98	-
LTM ROE*3	-	50.2%	-%	-
運転中発電所数 (括弧は持分法適用の数)	12(0)	14 (1)	14 (1)	-
設備容量(MW)*4	333.3	593.1	593.1	-

*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益(由利本荘洋上風力除く)+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

*2 EPSは潜在株式調整を考慮しない数値 *3 ROE における親会社の所有者に帰属する持分は、12ヶ月間の期首・期末の単純平均値を使用

*4 設備容量は弊社持分比率を考慮しないグロス値で表示

セグメント別連結業績(IFRS)

(単位: 百万円)

- 再生可能エネルギー発電事業は、苅田バイオマス及び軽米尊坊ソーラーの運転開始に伴い増収増益。なお、激変緩和措置期間が終了したことによる影響は軽微
- 再生可能エネルギー開発・運営事業は、前年同四半期に対して事業開発報酬の減少及び洋上風力事業の公募選定結果に伴う関連会社出資持分の損失処理等が、営業利益に影響

		2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減	
再生可能エネルギー 発電事業	(A)	売上収益	13,473	19,887	47.6%
		EBITDA ^{*2}	10,233	13,432	31.3%
		営業利益	5,827	7,674	31.7%
再生可能エネルギー 開発・運営事業 + 連結消去	(B) ^{*1}	売上収益	2,828	1,227	▲56.6%
		EBITDA ^{*2}	▲785	▲2,304	NM
		営業利益	▲883	▲6,679	NM
合計	(A) + (B) ^{*1}	売上収益	16,301	21,114	29.5%
		EBITDA ^{*2}	9,448	11,128	17.8%
		営業利益	4,944	995	▲79.9%

*1 子会社や関連会社に対する弊社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

*2 EBITDA = 売上収益 - 燃料費 - 外注費 - 人件費 + 持分法による投資損益(由利本荘洋上風力除く) + その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外 6

連結資本構成(IFRS)

(単位: 百万円)

- バイオマス事業の燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動の影響に伴い、資本比率は上昇
- 連結有利子負債における、発電事業SPCのプロジェクトファイナンスが占める割合は、約8割。なお、プロジェクトファイナンスの殆どは、金利スワップによって金利を固定化済み

		2021年3月期 期末	2022年3月期 第3四半期末	増減	主な増減要因
主要BS項目	資産合計	220,546	296,209	75,663	苅田バイオマスの連結化及び徳島津田バイオマスの建設進捗に伴う増加
	親会社の所有者に帰属する持分合計	15,252	29,220	13,968	バイオマス事業の燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
	純有利子負債 ^{*1}	122,630	165,411	42,781	苅田バイオマス及び徳島津田バイオマスの建設進捗に伴う増加
	現預金 ^{*2}	40,356	44,349	3,993	
	有利子負債 ^{*3}	162,986	209,760	46,775	
財務健全性 指標	親会社所有者持分比率	6.9%	9.9%	2.9%	
	資本比率	11.3%	16.7%	5.4%	
	Net D / Eレシオ ^{*4}	4.9x	3.3x	▲1.6x	
	Net Debt / LTM EBITDA ^{*5}	11.5x	13.4x	1.9x	
	調整後Net Debt / LTM EBITDA ^{*6}	8.8x	10.2x	1.4x	

*1 純有利子負債＝有利子負債－現預金 *2 現預金＝現金及び現金同等物＋引出制限付預金 *3 有利子負債＝借入金＋社債＋リース負債＋その他の金融負債

*4 Net D/Eレシオ＝純有利子負債 / 資本 *5 LTM EBITDAは、2021年3月期 10,620百万円、2022年3月期3Q 9,448百万円

*6 運転期間が1年未満の発電事業SPCのNet Debt及びEBITDAを除いた数値にて算出

連結財政状態計算書(IFRS)

(単位: 百万円)

■ 荏田バイオマスの連結化に伴い、資産及び有利子負債は増加

	2021年3月期 期末	2022年3月期 第3四半期末	増減	主な増減要因
流動資産	46,699	54,432	7,734	
非流動資産	173,847	241,776	67,929	
有形固定資産	104,148	146,744	42,596	荏田バイオマスの連結化に伴う増加
無形資産	19,730	37,719	17,988	荏田バイオマスの連結化に伴う増加
その他の金融資産	17,840	26,446	8,607	バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
その他の非流動資産	4,733	5,819	1,085	
資産合計	220,546	296,209	75,663	
有利子負債 ^{*1}	162,986	209,760	46,774	荏田バイオマスの連結化に伴う増加
その他負債	32,696	36,935	4,239	
負債合計	195,682	246,695	51,013	
利益剰余金	20,722	22,846	2,124	四半期損失による増加
その他の資本の構成要素	▲8,729	3,104	11,833	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値変動
親会社の所有者に帰属する持分合計	15,252	29,220	13,968	
非支配持分	9,612	20,294	10,682	荏田バイオマスの連結化に伴う増加
資本合計	24,864	49,514	24,650	

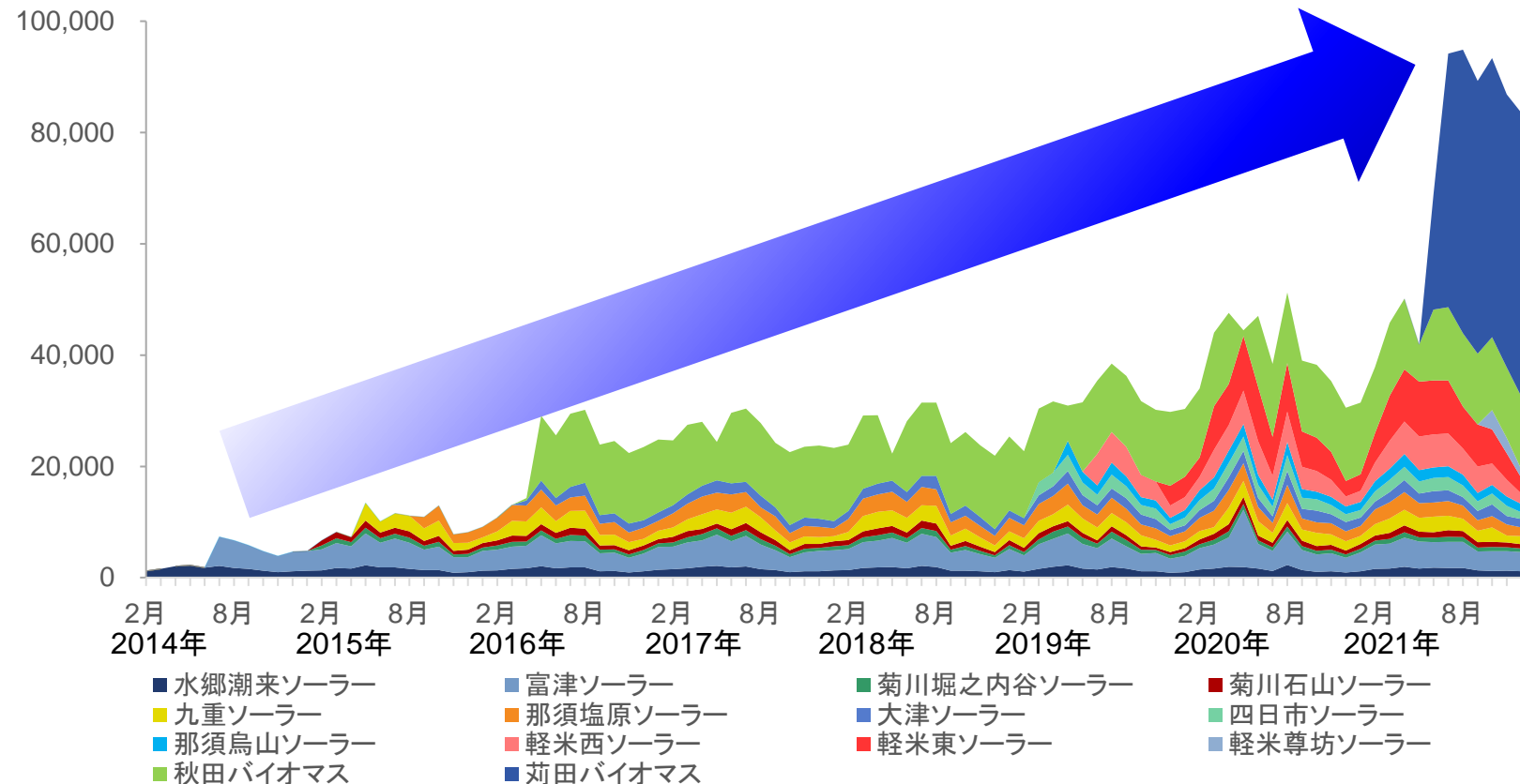
*1 有利子負債 = 借入金 + 社債 + リース負債 + その他の金融負債

レノバの保有する国内の発電所における売電量の月次推移*1

2021年12月時点

- 2021年6月に苅田バイオマス(75.0 MW)、2021年10月に軽米尊坊ソーラー(40.8 MW)が運転開始
- 各発電所とも運転開始以降、安定した稼働を継続

(単位：MWh^{*2})



*1 秋田バイオマスは、毎年5月に運転を停止し、定期点検を実施

*2 発電量をあらわす単位(1MWh=1,000kWh)

(ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)			EBITDA	当期利益	弊社 持分比率	
			売上収益	EBITDA	マージン			
水郷潮来ソーラー ^{*1}	15.3	40円	2022年3月期3Q	554	490	88.3%	186	68.0%
			2021年3月期3Q	552	459	83.1%	161	68.0%
富津ソーラー ^{*1}	40.4	40円	2022年3月期3Q	1,527	1,383	90.6%	557	51.0%
			2021年3月期3Q	1,503	1,393	92.7%	556	51.0%
菊川石山ソーラー ^{*1}	9.4	40円	2022年3月期3Q	363	322	88.8%	111	63.0%
			2021年3月期3Q	360	315	87.6%	103	63.0%
菊川堀之内谷 ソーラー ^{*1}	7.5	40円	2022年3月期3Q	285	248	86.9%	81	61.0%
			2021年3月期3Q	283	242	85.6%	75	61.0%
九重ソーラー ^{*2 *3}	25.4	40円	2022年3月期3Q	808	689	85.3%	226	100.0%
			2021年3月期3Q	857	733	85.6%	256	100.0%
那須塩原ソーラー ^{*2 *3}	26.2	40円	2022年3月期3Q	838	749	89.5%	325	100.0%
			2021年3月期3Q	877	753	85.9%	311	100.0%

*1 株式会社 *2 匿名組合事業

*3 匿名組合事業に関してその課税所得は、出資割合に応じて匿名組合出資者に帰属するため、匿名組合事業としての税金費用は発生しない

(ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)			EBITDA	当期利益	弊社 持分比率	
			売上収益	EBITDA	マージン			
大津ソーラー ^{*1 *2}	19.0	36円	2022年3月期3Q	580	483	83.3%	140	100.0%
			2021年3月期3Q	616	522	84.7%	155	100.0%
四日市ソーラー ^{*1 *2}	21.6	36円	2022年3月期3Q	652	565	86.6%	189	100.0%
			2021年3月期3Q	693	625	90.2%	240	100.0%
那須烏山ソーラー ^{*1 *2}	19.2	36円	2022年3月期3Q	589	498	84.5%	147	100.0%
			2021年3月期3Q	561	482	85.9%	125	100.0%
軽米西ソーラー ^{*1 *2}	48.0	36円	2022年3月期3Q	1,514	1,380	91.2%	388	100.0%
			2021年3月期3Q	1,400	1,278	91.3%	278	100.0%
軽米東ソーラー ^{*1 *2}	80.8	36円	2022年3月期3Q	2,424	2,240	92.4%	797	100.0%
			2021年3月期3Q	2,267	2,096	92.5%	645	100.0%
軽米尊坊ソーラー ^{*1 *2} ^{*3}	40.8	36円	2022年3月期3Q	277	232	83.6%	▲38	55.0%
			2021年3月期3Q	-	-	-	-	46.0%
秋田バイオマス (URE) ^{*4}	20.5	32円 /24円	2022年3月期3Q	3,326	1,099	33.1%	402	35.3%
			2021年3月期3Q	3,498	1,336	38.2%	526	35.3%
苅田バイオマス	75.0	24円 /32円	2022年3月期3Q	6,142	2,724	44.4%	963	53.1%
			2021年3月期3Q	-	-	-	-	43.1%

*1 匿名組合事業 *2 匿名組合事業に関してその課税所得は、出資割合に応じて匿名組合出資者に帰属するため、匿名組合事業としての税金費用は発生しない

*3 2021年10月8日、出資持分の追加取得により、弊社持分比率は55.0%

*4 ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社

II. 2022年3月期業績予想(IFRS)

2022年3月期連結業績予想(IFRS)の修正

(単位: 百万円 / %)

- 売上収益は、期初に見込んでいた事業開発報酬の剥落等の影響に伴い減額
- 営業利益以下の段階利益は、洋上風力事業の公募選定結果に伴う、関連会社出資持分の損失処理等が影響

	2022年3月期 (期初予想)	2022年3月期 (修正予想)	変化率	
売上収益	30,000	28,600	▲4.7%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 期初に見込んでいた事業開発報酬等の剥落 ■ 荻田バイオマスの試運転収益の計上
EBITDA*1	12,600	12,200	▲3.2%	
EBITDA マージン	42.0%	42.6%	-	<ul style="list-style-type: none"> ■ 洋上風力事業の公募選定結果に伴う、関連会社出資持分の損失処理等の影響
営業利益	4,700	▲500	NM	
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	5,100	▲1,100	NM	<ul style="list-style-type: none"> ■ 繰延税金資産の取り崩し ■ 唐津バイオマスのオプション公正価値評価益を計上
EPS(円)*2	65.31	▲13.98	-	
ROE*3	36.2%	-%	-	

*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益(由利本荘洋上風力除く)+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

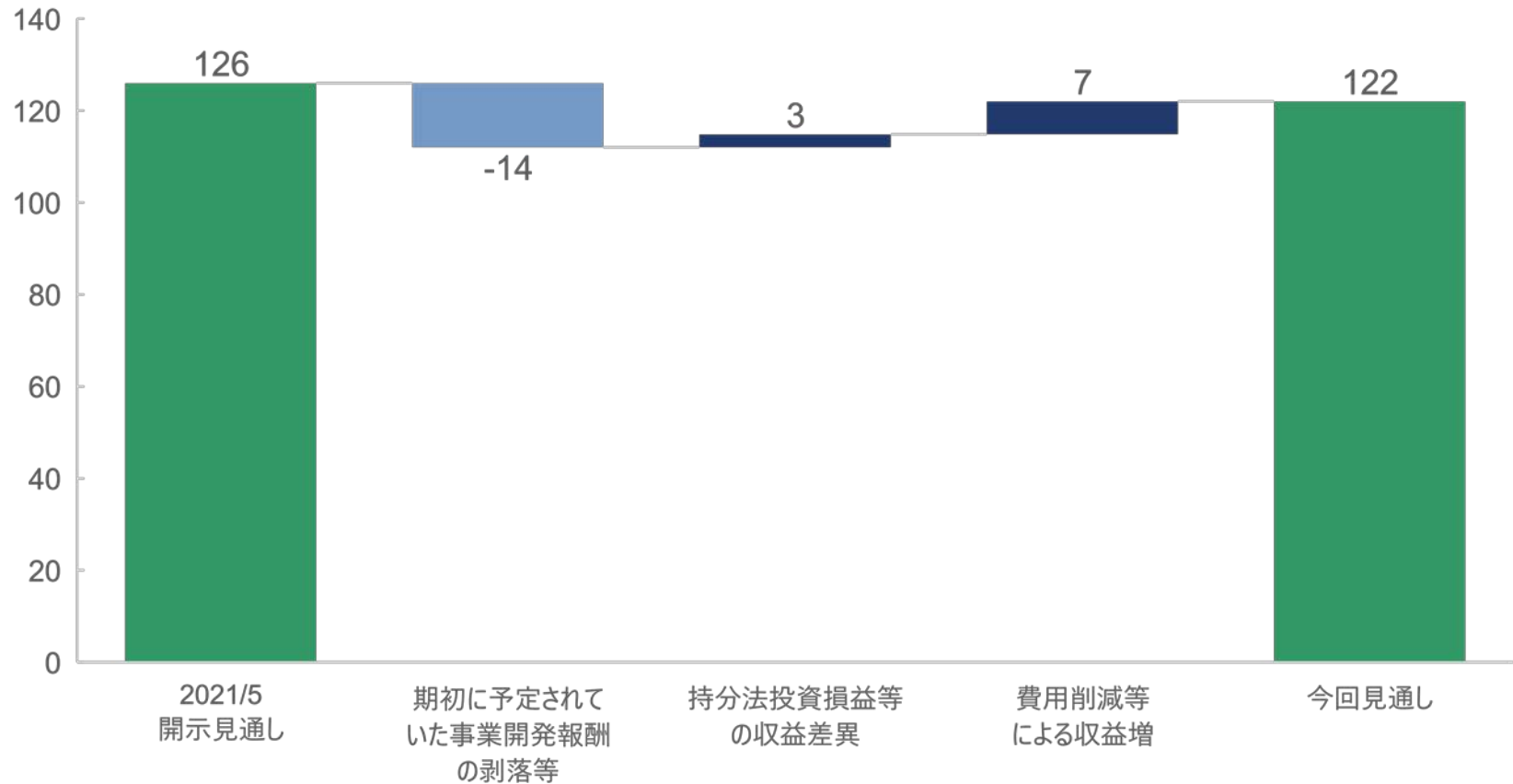
*2 2022年3月期(業績予想)のEPSは、2021年3月期末における発行済株式総数を期中平均株式数と仮定して算出 *3 ROE における親会社の所有者に帰属する持分は

連結会計年度の期首と期末の単純平均値を使用

EBITDA見通し差異

(単位:億円)

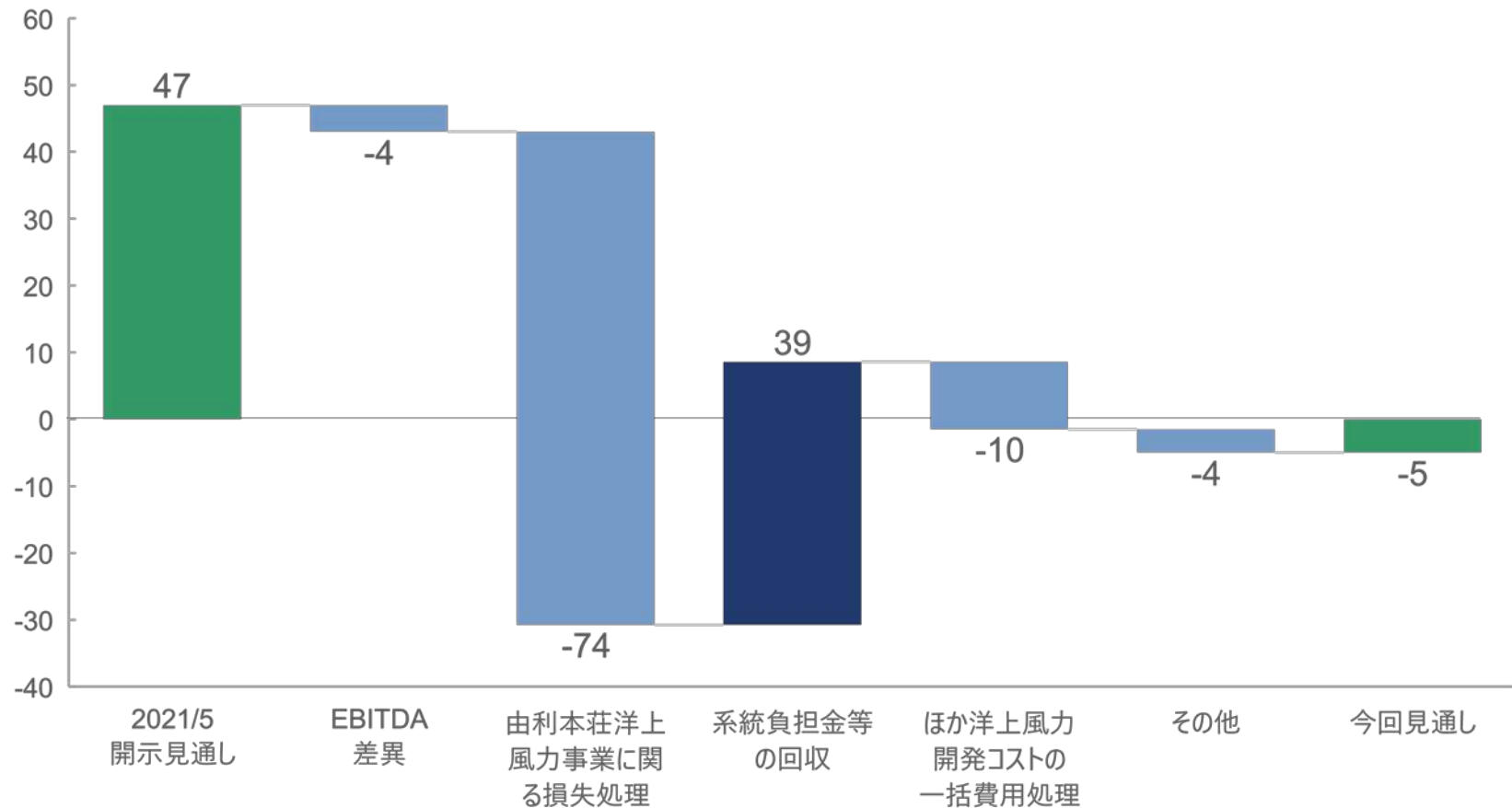
- 期初に見込んでいた事業開発報酬等が剥落する一方、発電事業が順調に進捗していることや、コストの削減等を進めることによりEBITDA見通しは120億円台を維持



営業利益見通し差異

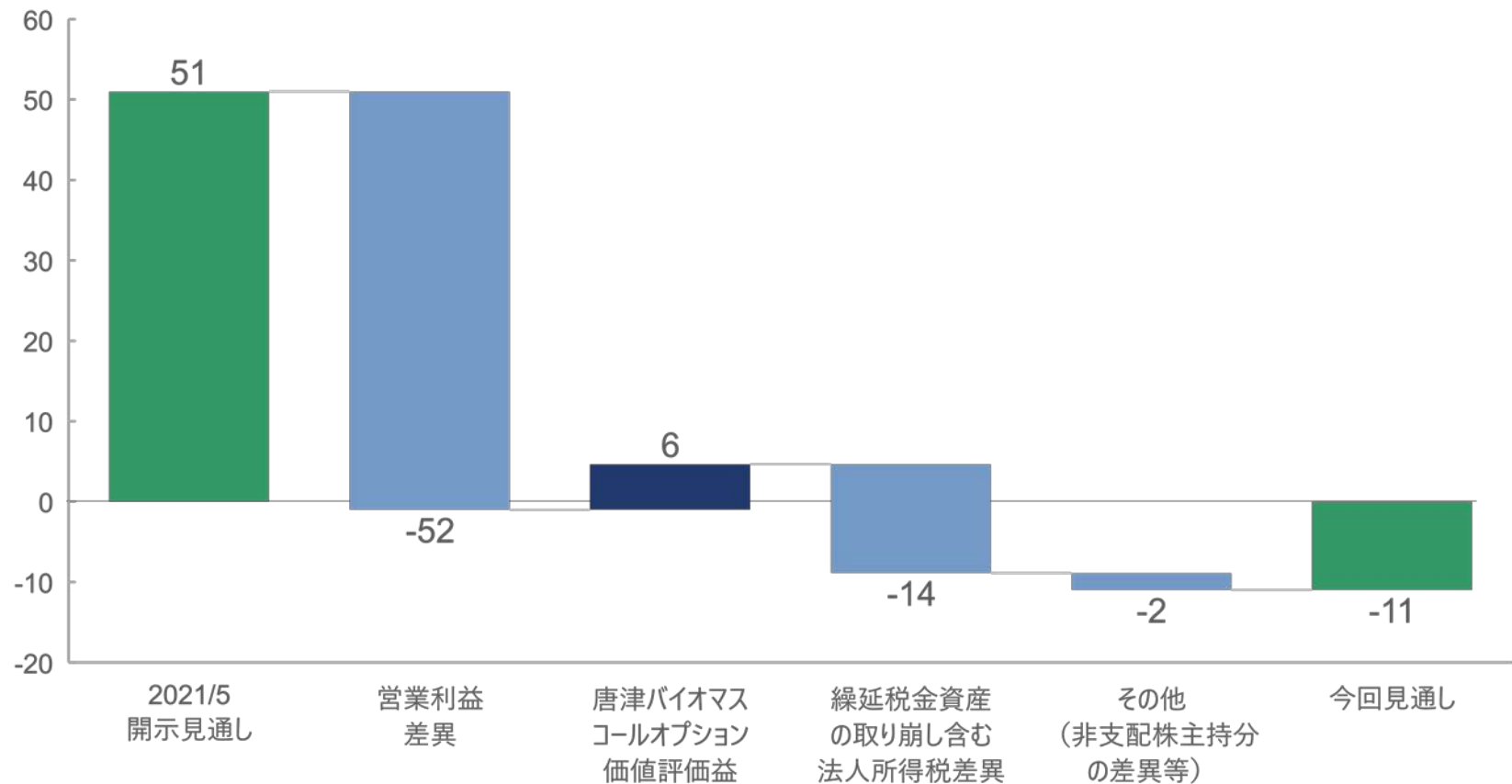
(単位:億円)

- 由利本荘洋上風力事業への出資持分等を損失処理。系統負担金等は回収予定
- これまでに資産化していた他の開発中の国内洋上風力事業に関するリスク性資産を一括費用処理(開発は継続)



親会社の所有者に帰属する当期利益見通し差異 (単位:億円)

■ レノバ単体の繰延税金資産を全額取り崩し



2022年3月期業績予想の主な前提条件

2022年2月8日時点

期初予想

修正予想

発電事業 セグメント

【連結】

- 太陽光発電所(運転中)12ヶ所／353.6MW
 - 軽米尊坊ソーラー6ヶ月分の業績寄与
 - 太陽光発電所の一部は需給調整／工事・点検のための出力制御に伴う影響を考慮
- バイオマス発電所(運転中)2ヶ所／95.5MW
 - 苅田バイオマス8ヶ月分の業績寄与
 - 計画外停止リスクバッファを考慮

【持分法による投資損益】

- 陸上風力発電所1ヶ所／144.0MW
 - クアンチ陸上風力5ヶ月分の業績寄与

【連結】

- 太陽光発電所(運転中)12ヶ所／353.6MW
 - 軽米尊坊ソーラー6ヶ月分の業績寄与
 - 太陽光発電所の一部は需給調整／工事・点検のための出力制御に伴う影響を考慮
- バイオマス発電所(運転中)2ヶ所／95.5MW
 - 苅田バイオマス8ヶ月分の業績寄与
 - 計画外停止リスクバッファを考慮

【持分法による投資損益】

- 陸上風力発電所(運転中)1ヶ所／144.0 MW
 - クアンチ陸上風力5ヶ月分の業績寄与
- バイオマス発電所(運転中)1ヶ所／75.0 MW
 - 苅田バイオマスの試運転期間の売電収入の業績寄与

開発・ 運営事業 セグメント

【事業開発報酬】

- 約28億円*1
 - 複数の開発事業からの計上を見込む

【事業開発報酬】

- 約10億円*1
 - 洋上風力事業の事業開発報酬が剥落

*1 事業開発報酬は、連結消去後の数値を記載

再生可能エネルギー事業のセグメント別業績予想 (IFRS)

(単位: 百万円)

- 苅田バイオマス及び軽米尊坊ソーラーの運転開始に伴い、発電事業は成長
- 開発・運営事業においては、洋上風力事業の公募選定結果に伴い、計上を見込んでいた事業開発報酬が剥落。また、関連する投資損失の計上及びこれまでの国内洋上風力事業の開発費を一括計上

		2022年3月期 (期初予想)	2022年3月期 (修正予想)	差分		
再生可能エネルギー — 発電事業	(A)	売上収益	27,000	27,300	300	<ul style="list-style-type: none"> ■ 苅田バイオマスの発電効率の良化 ■ UREの順調な稼働による収益増
		EBITDA ^{*2}	15,700	16,300	600	
		営業利益	7,800	8,400	600	
再生可能エネルギー — 開発・運営事業 + 連結消去	(B) ^{*1}	売上収益	3,000	1,300	▲1,700	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公募選定結果に伴う投資損失▲3,400 ■ 国内洋上風力の開発費の一括費用処理▲1,000
		EBITDA ^{*2}	▲3,100	▲4,100	NM	
		営業利益	▲3,100	▲8,900	NM	
合計	(A) + (B) ^{*1}	売上収益	30,000	28,600	▲1,400	
		EBITDA ^{*2}	12,600	12,200	▲400	
		営業利益	4,700	▲500	▲5,200	

*1 子会社や関連会社に対する弊社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

*2 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益(由利本荘洋上風力除く)+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外 18

Ⅲ. 事業開発状況のアップデート

今後の取り組みにおける重点領域

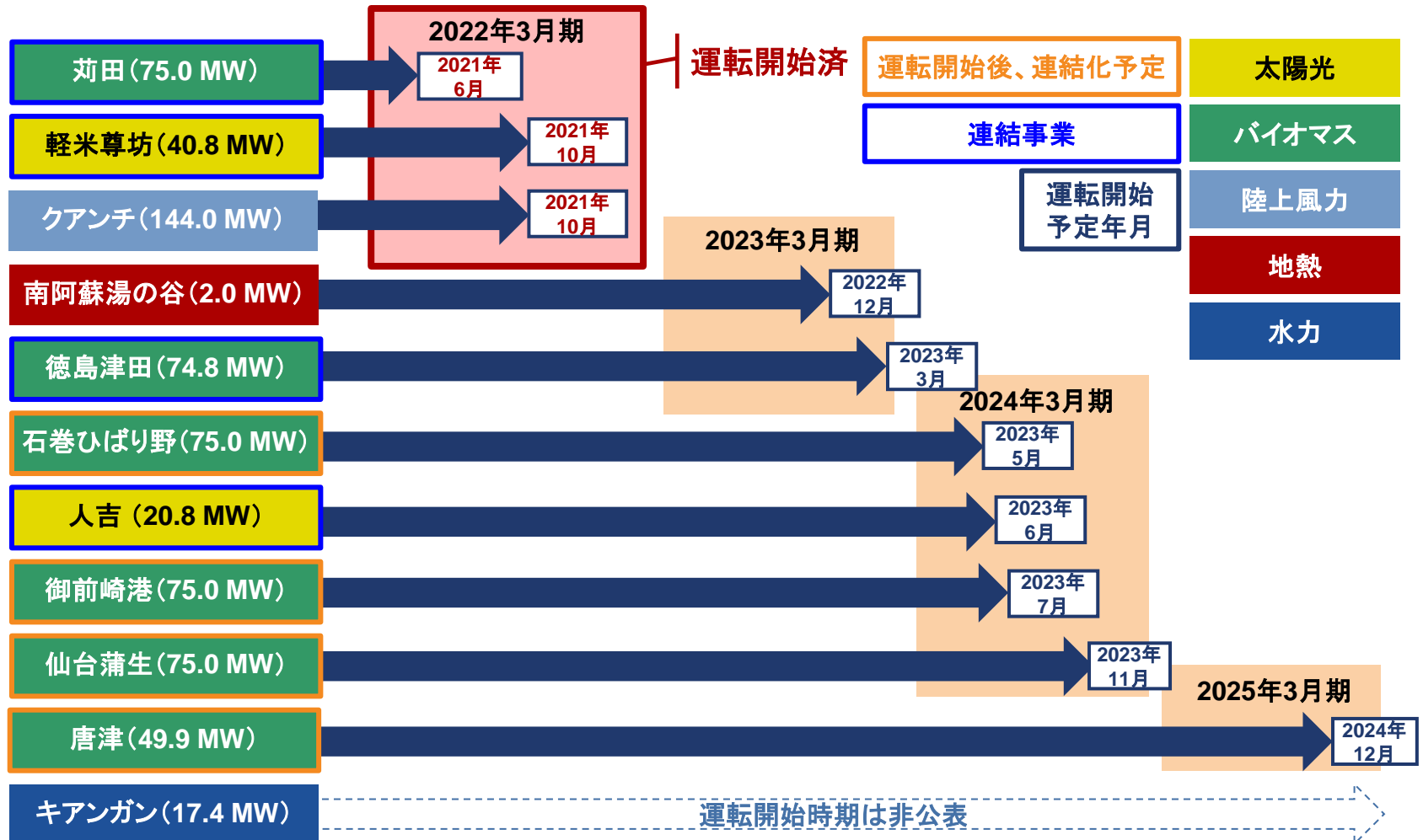
2022年2月現在

- 1 建設中バイオマス事業の計画通りの竣工による、蓋然性の高い成長の実現と盤石な収益基盤の確立
- 2 アジアにおける開発の加速、エンジニアリング機能の価値創出
- 3 国内洋上風力に対する戦術の見直し
- 4 国内における多様な電源のソーシング活動の強化
- 5 脱炭素の加速を支える、再生可能エネルギー周辺事業への取り組みの推進

建設中事業の運転開始スケジュール^{*1*2}

2022年2月現在

- 来年度以降に運転開始予定の全8事業^{*2}の建設は予定通りに進捗







*1 建設中の事業の運転開始の年月は、現状における予定であり、変更、遅延となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

*2 2021年8月に着工したキアンガン水力(17.4 MW)の運転開始は非公表

建設中事業の進捗^{*1} (1/2)

2022年2月現在

- 建設中の全てのバイオマス発電所において、タービン建屋の建設及び基礎工事等が順調に進捗

<p>徳島津田バイオマス (74.8 MW、徳島県徳島市)</p> <p>ボイラ設備の据付 (2022年1月)</p>  <p>2023年3月運転開始(予定)^{*2}</p>	<p>石巻ひばり野バイオマス (75.0 MW、宮城県石巻市)</p> <p>全景 (2022年1月)</p>  <p>2023年5月運転開始(予定)^{*2}</p>	<p>御前崎港バイオマス (75.0 MW、静岡県御前崎市他)</p> <p>ボイラ棟の建設 (2022年1月)</p>  <p>2023年7月運転開始(予定)^{*2}</p>
<p>仙台蒲生バイオマス (75.0 MW、宮城県仙台市)</p> <p>管理棟外装工事 (2022年1月)</p>  <p>2023年11月運転開始(予定)^{*2}</p>	<p>唐津バイオマス (49.9 MW、佐賀県唐津市)</p> <p>造成工事 (2022年1月)</p>  <p>2024年12月運転開始(予定)^{*2}</p>	

^{*1} EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

^{*2} 現状の計画値であり、変動する可能性がある

建設中事業の進捗^{*1} (2/2)

2022年2月現在

- 南阿蘇湯の谷地熱は、造成工事及び事務所棟の建設が順調に進捗
- 人吉ソーラーやキアンガン水力は、土木工事が順調に進捗

南阿蘇湯の谷地熱
(2.0 MW、熊本県阿蘇郡南阿蘇村)

杭打ち工事
(2022年1月)



2022年12月運転開始(予定)^{*2}

人吉ソーラー
(20.8 MW、熊本県人吉市)

調整池掘削
(2022年1月)



2023年6月運転開始(予定)^{*2}

キアンガン水力
(17.4 MW、フィリピンイフガオ州)

土木工事
(2021年11月)



運転開始に向け建設中^{*2*3}

^{*1} EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

^{*2} 現状の計画値であり、変動する可能性がある

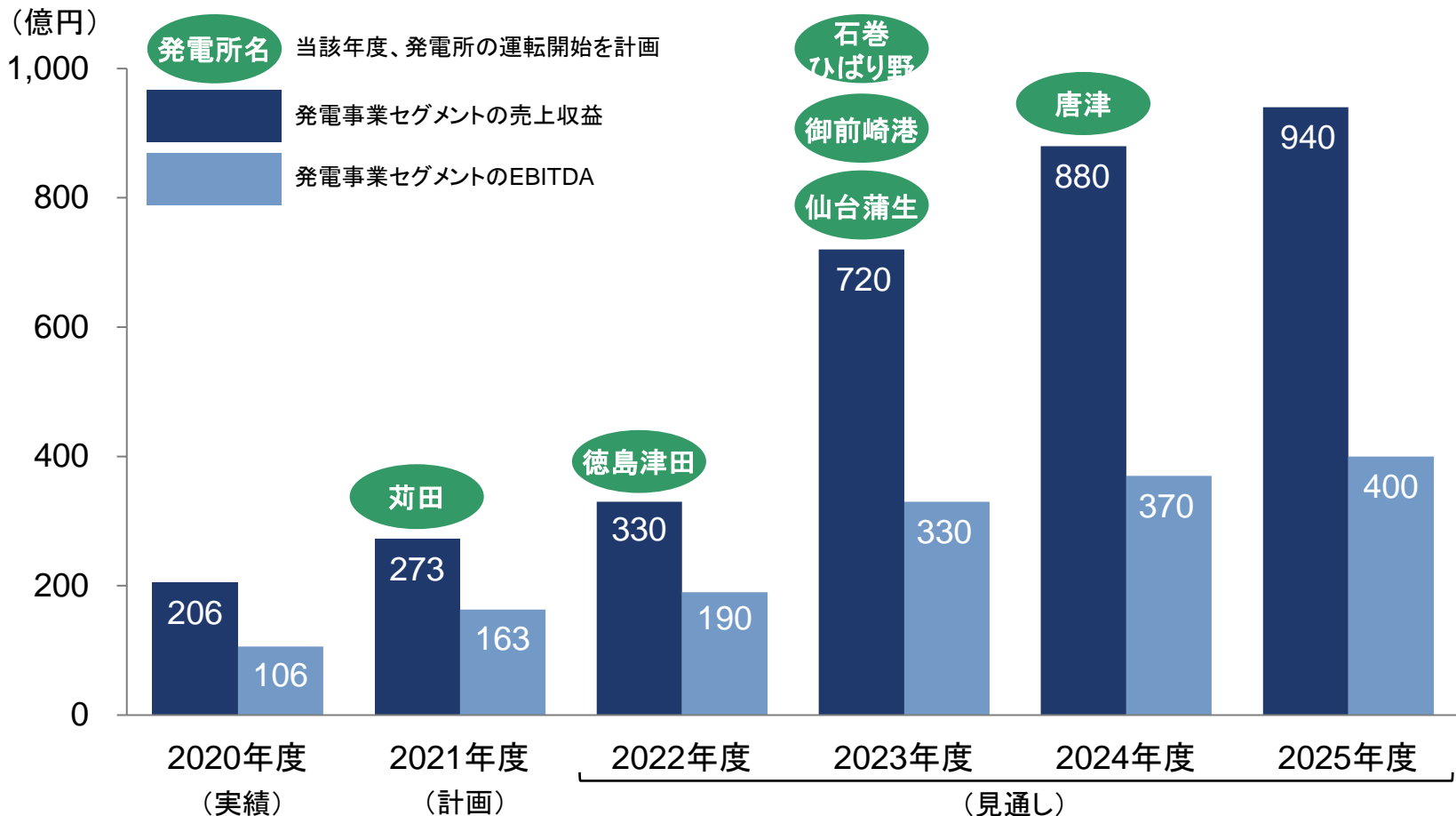
^{*3} 運転開始時期は非公表

発電事業セグメントの収益見通し

2022年2月現在

- 建設中バイオマス事業の今後の業績寄与により、蓋然性の高い成長と盤石な収益基盤の構築を見込む。この収益基盤の下、更なる成長に向けた開発投資を加速

発電事業セグメントの売上収益及びEBITDAの見通し*1*2



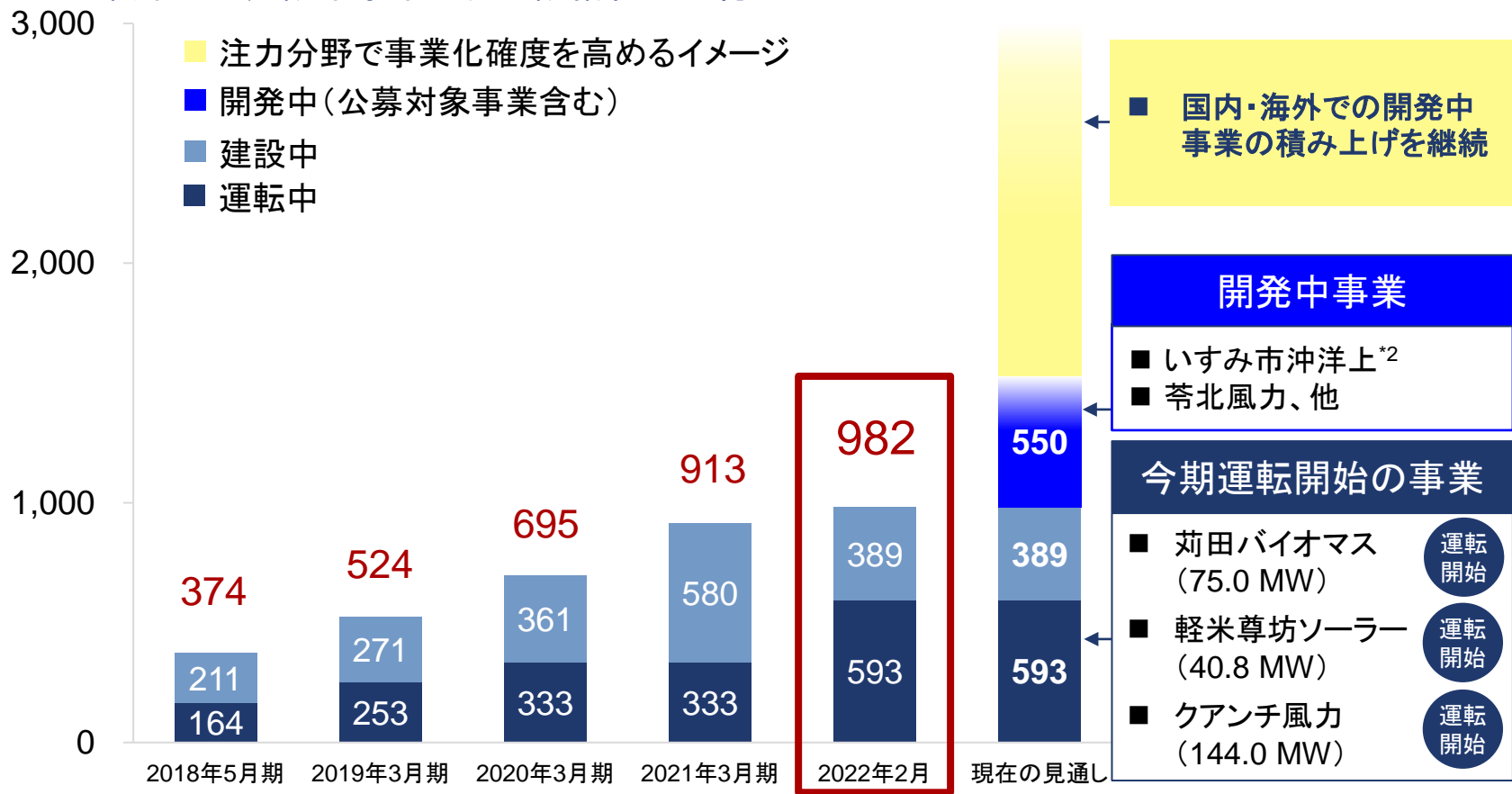
*1 建設中の事業の運転開始の年月は、現状における予定であり、変更、遅延となる可能性がある

*2 公表している他の建設中及び開発中事業のうち、人吉ソーラー、苓北風力等の収益見通しを盛り込んでいる

運転中・建設中の発電事業の設備容量推移*1

2022年2月現在(単位:MW)

- 2021年6月、苅田バイオマス(75.0 MW)が運転開始。2021年10月、軽米尊坊ソーラー(40.8MW)が運転開始
- 2021年6月、南阿蘇湯の谷地熱(2.0 MW)が着工。2021年8月、唐津バイオマス(49.9 MW)及びキアンガン水力(17.4 MW)が着工
- 運転中及び建設中事業の合計設備容量は約1 GW



*1 EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記しています

*2 公募対象事業

IV.【添付資料】その他会社情報

電源の保有及び開発状況(1/4)

現在公表可能な事業リスト*1(2022年2月現在)

- 2021年10月、軽米尊坊ソーラー(40.8 MW)が運転開始し、連結
- 人吉ソーラー(20.8 MW)は建設が順調に進捗

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資比率	運転開始年 (目標)*3	FIT終了年
太陽光	水郷潮来	茨城県	15.3	40円	運転中	68.0%	2014年	2034年
	富津	千葉県	40.4	40円	運転中	51.0%	2014年	2034年
	菊川石山	静岡県	9.4	40円	運転中	63.0%	2015年	2035年
	菊川堀之内谷	静岡県	7.5	40円	運転中	61.0%	2015年	2035年
	九重	大分県	25.4	40円	運転中	100%	2015年	2035年
	那須塩原	栃木県	26.2	40円	運転中	100%	2015年	2035年
	大津	熊本県	19.0	36円	運転中	100%	2016年	2036年
	四日市	三重県	21.6	36円	運転中	100%	2019年	2039年
	那須烏山	栃木県	19.2	36円	運転中	100%	2019年	2039年
	軽米西	岩手県	48.0	36円	運転中	100%	2019年	2039年
	軽米東	岩手県	80.8	36円	運転中	100%	2019年	2039年
	軽米尊坊	岩手県	40.8	36円	運転中	55.0%	2021年10月	2041年
	人吉	熊本県	20.8	36円	建設中	38.0%*4	(2023年6月)	(2042年頃)*5

*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

*3 建設中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

*4 発電所の完成日以降に、共同スポンサーが保有する匿名組合出資持分(62.0%)の全てを買い増す権利を有す

*5 九州電力による送電線の工事期間が長期に亘り、運転開始は2023年の半ばを想定。2016年8月1日以降に接続契約を締結しており、認定から3年間の運転開始期限が設けられているため、固定価格買取制度の下での売電期間は18年8ヶ月となる見通し

電源の保有及び開発状況(2/4)

現在公表可能な事業リスト*1(2022年2月現在)

- 2021年8月、唐津バイオマス(49.9 MW)は融資関連契約を締結し、着工
- 運転中及び建設中のバイオマス事業の設備容量は合計約450 MW

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資比率	運転開始年 (目標)*3	FIT 終了年
バイオマス	秋田(URE)	秋田県	20.5	32円/24円	運転中	35.3%*4	2016年	2036年
	苅田	福岡県	75.0	24円/32円	運転中	53.1%	2021年6月	2041年
	徳島津田	徳島県	74.8	24円/32円	建設中	70.4%*5	(2023年3月)	(2043年頃)
	御前崎港	静岡県	75.0	24円/32円	建設中	57.0%*6*7	(2023年7月)	(2043年頃)
	石巻ひばり野	宮城県	75.0	24円/32円	建設中	49.9%*8*9	(2023年5月)	(2043年頃)
	仙台蒲生	宮城県	75.0	24円/32円	建設中	29.0%*10	(2023年11月)	(2043年頃)
	唐津	佐賀県	49.9	24円	建設中	35.0%*11	(2024年12月)	(2044年頃)

*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

*3 開発中及び建設中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

*4 弊社はURE(ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社)に対して、弊社子会社である千秋ホールディングス㈱(以下、千秋HD)を通じて出資しており、弊社によるUREの実質持分(千秋HDが保有するUREの株式に対して、弊社が保有する千秋HDの持株比率を乗じ、弊社が直接保有するとみなして算出したURE持株比率)は35.3%

*5 ここでは配当比率を記載。出資比率は60.8%

*6 ここでは配当比率を記載。出資比率は38.0%

*7 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 18.0%、配当比率: 18.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社に帰属する事業からの配当比率は75.0%(但し、弊社の出資比率は 56.0%)

*8 ここでは配当比率を記載。出資比率は38.0%

*9 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 13.0%、配当比率: 13.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社に帰属する事業からの配当比率は62.93%(但し、弊社の出資比率は 51.0%)

*10 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 31.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社の出資比率は 60.0%

*11 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 16.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社の出資比率は 51.0%

電源の保有及び開発状況 (3/4)

現在公表可能な事業リスト*1 (2022年2月現在)

- 2021年10月、クアンチ風力(144.0 MW)が運転開始
- 唐津市沖(2022年1月)及びいすみ市沖洋上風力事業(2022年2月)における環境影響評価の配慮書を公告・縦覧。なお公募対象である洋上風力事業に関する開発費用は全てを費用計上

電源	事業名略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*3	現況	出資比率	環境影響評価の進捗	運転開始年 (目標)*4	FIT 終了年
洋上風力	いすみ*5	千葉県	約[350-450]	未定	先行投資 (公募対象事業)	-	配慮書 手続中	未定	-
	唐津*5	佐賀県	調査中	未定	先行投資 (公募対象事業)	-	配慮書 手続中	未定	-
	阿武隈*6	福島県	約150	22円	推進中	10% 未満	完了	未定	-
陸上風力	荅北	熊本県	約50	21円	アセス中	-	評価書の 確定	(2024年頃)	(2044年頃)
	クアンチ*6	ベトナム	144.0	8.5セント	運転中	40.0%	-	2021年10月	2041年

*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

*2 海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律(2018年12月7日公布)における公募

*3 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

*4 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

*5 規模・運転開始年は、見通しが立った段階で改めてお示しします

*6 他社が開発を主導するマイノリティ投資

電源の保有及び開発状況(4/4)

現在公表可能な事業リスト*1(2022年2月現在)

- 2021年6月、南阿蘇湯の谷地熱(2.0 MW)が着工
- 2021年8月、キアング水力(17.4 MW)が着工

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資 比率	環境影響 評価の 進捗	運転開始年 (目標)*3	FIT 終了年
地熱	南阿蘇 湯の谷*4	熊本県	2.0	40円	建設中	30.0%	-	(2022年12月)	-
	函館恵山	北海道	未定	未定	先行投資	-	-	未定	-
水力	キアング	フィリピン	17.4*5	5.87 PHP*6*7	建設中	40.0%	-	非公表	-

*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

*3 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

*4 他社が開発を主導するマイノリティ投資

*5 許認可ベースでの設備容量

*6 小水力発電に関する FIT 対象枠の残存期間中に運転開始した場合の想定 FIT 単価

*7 フィリピンペソ=2円で換算した参考値

(ご参考) 国内におけるFIT買取価格一覧表*1

2021年12月末時点

- 建設中及び運転中事業はいずれもFIT認定取得済み
- 公表済み開発中事業についても概ねFIT認定取得済み
 - 苓北風力事業は21円にてFIT認定取得済み
 - 洋上風力事業は、2018年12月に公布された再エネ海域利用法*2に則り、事業者を選定するプロセスにおいてFIT価格が決定される

2021年度現在のFIT買取価格

弊社の事業に適用されるFIT買取価格

再エネ発電設備の区分等		参入時期 ³ 別の買取価格 ⁴ (1kWh当たり) (税別)											買取期間
電源	種類・規模	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
太陽光	2,000kW以上	40円	36円	32円	29円(～6月末) 27円(7月～)	24円	入札制					-	20年間
バイオマス	間伐材等由来 ⁵ 2,000kW以上	32円										-	20年間
	一般木材等 ⁵ 10,000kW以上 ⁶	24円				24円(～9月末) 21円(10月～)	入札制					-	20年間
風力	陸上 20kW以上	22円				22円(～9月末) 21円(10月～)	20円	19円	18円	入札制			20年間
	一般海域／着床式	-	36円 <small>(一般海域の利用ルール整備に合わせて、ルールの適用される事業は入札制に移行)</small>					入札制			20年間		
	一般海域／浮体式	-	36円										20年間
地熱	15,000kW以上	26円										15年間	
	15,000kW未満	40円										15年間	

*1 経済産業省・資源エネルギー庁ウェブサイト(2021年4月28日時点)等を参考に弊社作成

*2 海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律(2018年12月7日公布)

*3 表示年度は各年4月から翌年3月までの期間を意味する

*4 買取価格は各年度の期間内にFIT法に基づく要件を満たした再生可能エネルギー発電所の買取期間に亘り適用される、固定の電力買取価格(消費税抜表示)を示す

*5 バイオマスの買取価格設定区分は、間伐材等由来が「国内発生のみ利用間伐・主伐材」、一般木質等が「製材端材、輸入材、パーム椰子殻、もみ殻、稲わら等」

*6 バイオマス(一般木材等)の発電規模の当該区分は、2017年度までは20,000kW以上、2018年度以降は10,000kW以上

会社概要

2021年12月31日時点

会社情報

社名	株式会社レノバ
本店所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号
代表者	取締役会長 千本 倅生 代表取締役社長CEO 木南 陽介
設立	2000年5月
資本金	2,313百万円
証券取引所	東京証券取引所市場第1部
証券コード	9519
事業内容	再生可能エネルギー事業
従業員数(連結)	291名

コーポレート・ガバナンス

取締役会	取締役9名のうち社外取締役5名
監査役会	監査役4名のうち社外監査役3名

株式の状況(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	280,800,000株
発行済株式総数	78,549,200株
株主数	15,379名

主な沿革

2000年5月	株式会社リサイクルワン(現レノバ)を設立
2012年10月	再生可能エネルギー事業に参入
2014年2月	株式会社水郷潮来ソーラーにて発電を開始
2014年7月	株式会社富津ソーラーにて発電を開始
2015年2月	株式会社菊川石山ソーラー、株式会社菊川堀之内谷ソーラーにて発電を開始
2015年5月	九重ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2015年9月	那須塩原ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2016年4月	大津ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2017年2月	東京証券取引所マザーズ市場に株式上場
2017年7月	UREを連結子会社化
2018年2月	東京証券取引所市場第1部へ市場変更
2019年3月	四日市ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2019年5月	那須烏山ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2019年7月	軽米西ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2019年12月	軽米東ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2021年6月	苅田バイオマスエナジー(株)にて発電を開始
2021年10月	軽米尊坊ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2021年10月	クアンチ風力事業にて発電を開始